

ブラームスの傑作ソナタから愛すべき小品まで、京都の秋を音楽で彩る、珠玉の名曲集。

- ❖J.S.バッハ:
主よ、人の望みの喜びよ
- ❖パッヘルベル:
カノン
- ❖アルビノーニ:
アダージョ
- ❖モーツァルト:
「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第1楽章
- ❖モーツァルト:
アレルヤ
- ❖モーツァルト:
ピアノ・ソナタ第11番 より
アンダンテ・グラツィオーソ〜トルコ行進曲
- ❖ブラームス:
ヴァイオリン・ソナタ第2番 イ長調
- ❖クライスラー:
愛の喜び、愛の悲しみ
- ❖アイルランド民謡(クライスラー編):
ロンドンデリーの歌
- ❖岡野貞一(山下康介編):
もみじ
- ❖サラサーテ:
ツイゴイネルワイゼン

ピアノ:丸山 滋



Mariko Senju

千住真理子 Violin Recital 2018

ヴァイオリン・リサイタル 2018



京都の秋
音楽祭

otonowa

www.otonowa.co.jp

●1:15PM開場
2018.10/14(日) 2:00PM開演
京都コンサートホール 大ホール

Sunday Afternoon, October 14, 2018, at 2:00, Kyoto Concert Hall

●京都市左京区下鴨半木町1-26/地下鉄烏丸線「北山」駅下車、③-①出口から南へ徒歩約5分

入場料金 ¥4,000 (全席指定/消費税込) ●2018.4/14(土) 10:00AM発売開始

※未就学児童の同伴・入場はお断りします。

※都合により、曲目・曲順・出演者等、内容の一部が変更になる場合があります。予めご了承ください。

共催:京都市/京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

主催/お問合せ:

otonowa 075-252-8255 [10:00AM~6:30PM/日曜・祝日休み 土曜不定休]

チケット発売場所

◎京都コンサートホール

075-711-3231

◎チケットぴあ [Pコード:109-804]

0570-02-9999

◎ローソンチケット [Lコード:57017]

0570-00-0407/0570-08-4005

◎CNプレイガイド

0570-08-9990

◎イープラス

<http://eplus.jp/otonowa/>

◎高島屋京都店7Fチケットショップ

※店頭販売のみ

◎ロームシアター京都

075-746-3201

◎otonowa

075-252-8255 ※電話予約のみ

郵便振替口座:00960-8-322727 加入者名:オトノワ

千住真理子

ヴァイオリン・リサイタル 2018



深まりつつある秋の季節には、ヴァイオリンの音色が似合います。ロマンチックな京都の秋の音楽祭、それにふさわしいプログラムを用意しました。

祈りの気持ちをこめて始まるバッハやバッヘルベルのカノン、しっとりとしたアルビノーニ、清らかで美しい天才モーツァルト作品のあとには、ドラマチックにブラームス、そしてロマンチックなクライスラー、最後に情熱のツィゴイネルワイゼン!

癒しと夢をあなたに。

ヴァイオリンで奏でる名曲、その響きに、身を任せに是非いらしてください。

日本が誇る京都コンサートホールで、みなさまのお越しをお待ちしています。

千住真理子

Mariko Senju Violin Recital 2018

❖千住真理子(ヴァイオリン) Mariko Senju, Violin

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、1987年ロンドン、1988年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。

1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールでのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。

2015年はデビュー40周年を迎え、1月にイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」、2月にはバッハ無伴奏ソナタ&パルティータ全曲「平和への祈り」をリリース、両作品ともレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。

2016年は、300歳の愛器デュランティと共に奏でるアルバム「MARIKO plays MOZART」をリリース。またプラハ交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と各地で共演。2017年はブラームス没後120年記念「ドラマチック・ブラームス」をリリース、また全国でスーク室内オーケストラとツアーを行い、好評を博した。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)、「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」(いずれも時事通信社)、「ヴァイオリニスト 20の哲学」(ヤマハミュージックメディア)、母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)、「命の往復書簡2011~2013」(文藝春秋社)、「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

千住真理子 オフィシャル・ホームページ <http://www.marikosenju.com/>



❖丸山 滋(ピアノ) Shigeru Maruyama, Piano

東京藝術大学大学院修士課程を修了。修了時にクワイター賞を受賞。植田克己氏に師事。

1992年よりドイツ芸術交流会(DAAD)の政府奨学金留学生として、ミュンヘン音楽大学マイスター課程に入学。ピアノをクラスウス・シルデ、歌曲演奏法をヘルムート・ドイチュの各氏に師事。1994年、ハンス・プフィツナー歌曲コンクール(ミュンヘン)において歌曲伴奏特別賞を受賞。同年、ミュンヘン音楽大学を修了。その後若い演奏家たちと様々な国際的経験を積んだ後、1995年に活動の場を日本に移す。

帰国後はソプラノの鮫島有美子、テノールの吉田浩之、ヴァイオリンの千住真理子ら多くの一流演奏家たちから大きな信頼を寄せられるパートナーとして、全国各地でのリサイタルやCD、DVD、放送など様々な機会でも盛んな共演を続けている。

1997年、J.S.G.国際歌曲コンクール(東京・大阪)において優秀伴奏者賞を受賞。同年、日本演奏連盟主催「演進コンサート93」として東京文化会館でデビューリサイタルを開催。以降ソロ、室内楽、歌曲とピアノが関わる幅広い分野での活発な活動を行っている。

2014年、札幌コンサートホールKitaraでの「丸山滋ピアノリサイタル～死への追憶・生への讃歌」が札幌市民芸術祭大賞を受賞。

東京藝術大学において室内楽科非常勤講師を務めた後、現在同大学声楽科およびピアノ科非常勤講師。